

ぶちセン 東北

Petit Census Tohoku

Vol.1 [令和3年2月]

農林水産省
東北農政局統計部



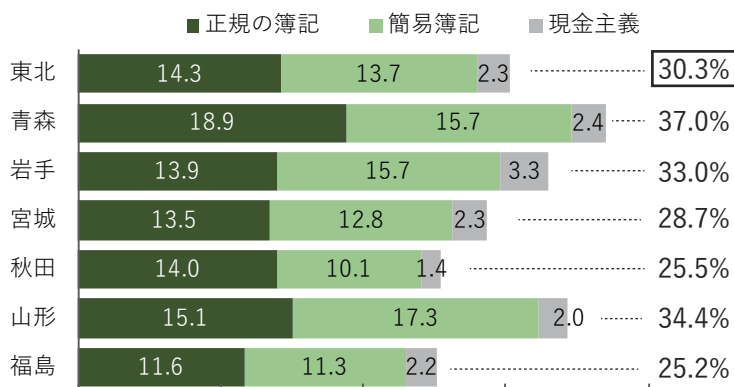
2020 年農林業センサス結果から「東北の農業」をミニ分析した「ぶちセン東北」をシリーズで発信します。

Vol.1 のテーマは、「2020 年農林業センサスでわかること」です。農林業センサスマスコットキャラクター「つつー」

2 2020 年農林業センサスでは

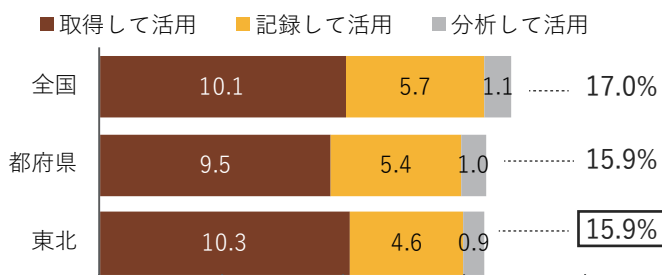
収入保険やスマート農業、有機農業といった新たな政策ニーズに対応した調査項目を追加して実施しました。

青色申告を行っている農業経営体



収入保険の加入要件である青色申告を行っている農業経営体は、東北で 30.3% となっています。

データを活用した農業を行っている農業経営体



気象・市況・栽培管理などのデータを活用した農業を行っている農業経営体の割合は、全国の 17.0% に対し、東北は 15.9% となっています。

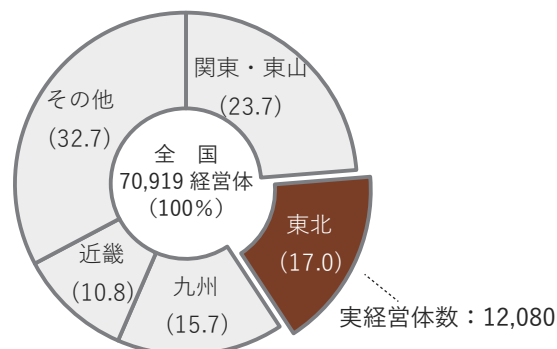
■ 農林業センサスとは

農林業に関する最も基礎的な統計調査であり、我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など、農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにするため、5 年に一度、すべての農林業経営体を調査しています。

■ センサスの語源

古代ローマに“センソール”という職の役人がいました。この役職は、5 年ごとにローマ市民の数などを調査することを仕事としており、センソールが行う調査を“センサス”と呼んでいたといわれています。このことから、センサスとは、通常すべてを調査の対象とし、個々の対象に調査票を使って、全般的な多項目にわたる調査を行うことを意味します。

有機農業に取り組んでいる農業経営体



有機農業に取り組んでいる農業経営体は全国で 70,919 経営体であり、東北はその 17.0% を占めています。

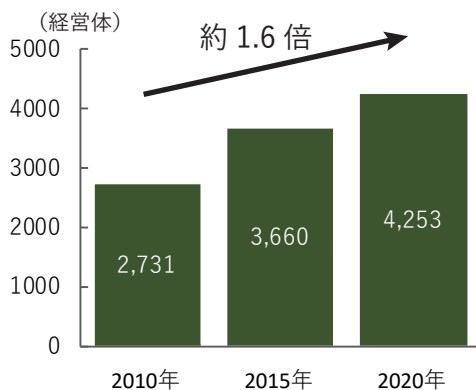
農

林業センサスでは、こんなことがわかります

農業・林業を行っている経営体数、販売金額規模などの経営体の状況、経営耕地面積などの生産構造、全国農業地域別の農業構造などがわかります。

法人経営体数が約 1.6 倍に

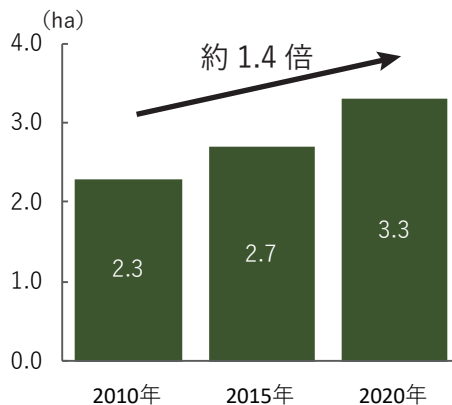
法人経営体数の推移（東北）



東北の「法人経営体数」は、10 年前に比べ約 1.6 倍の 4,253 経営体となっています。

1 経営体当たりの耕地面積が約 1.4 倍に

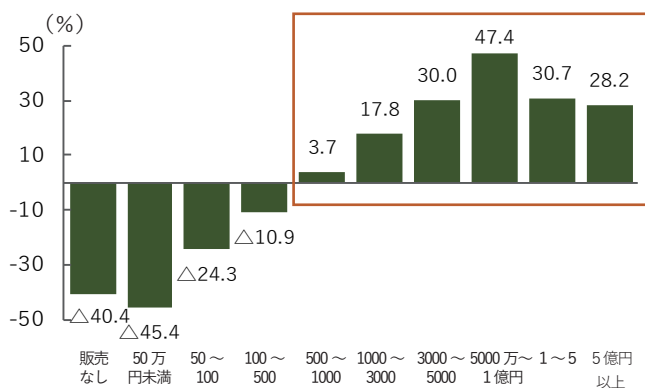
1 農業経営体当たりの経営耕地面積の状況（東北）



東北の「経営耕地のある 1 農業経営体当たりの経営耕地面積」は、10 年前に比べ約 1.4 倍の 3.3ha となっています。

販売金額規模が 500 万円以上で増加

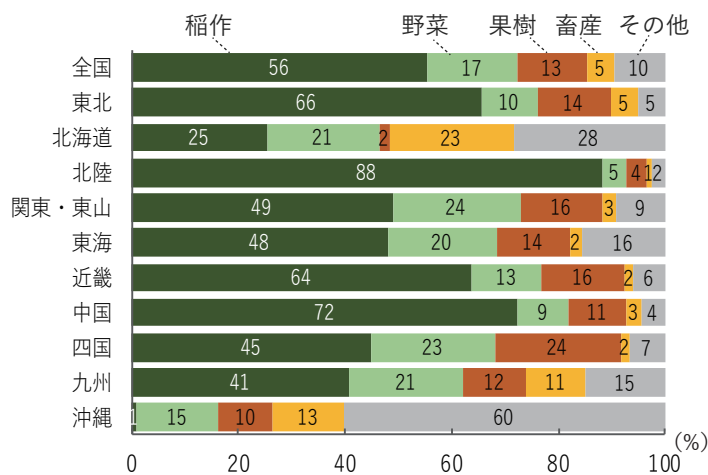
農産物販売金額規模別農業経営体数の増減率（東北）



東北の「農産物販売金額規模別」に農業経営体数の増減率をみると、5 年前に比べ 500 万円以上の階層で増加しています。

全国農業地域別の比較ができます

農産物販売金額 1 位の部門別農業経営体数の構成割合



東北は全国に比べて稲作が 10 ポイント多く、野菜作が 7 ポイント少ないなど、全国農業地域別の特色がわかります。

編集

後記

「ぶちセン Vol.1」いかがでしたか？

農林業センサスを知っていただく一つのきっかけになれたでしょうか…。

次号からは、東北 6 県の農業構造の変化や農山村の地域コミュニティの現状などをグラフ化し、簡単な解説を加えた内容でお届けします。是非ご覧ください。

※ 2020 年農林業センサス結果は令和 2 年 11 月に概数値を公表し、詳細なデータ（確定値）は令和 3 年 3 月以降を予定しています。

[公表資料はこちらから]

農林水産省ホームページ

東北農政局ホームページ

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noucen/index.html#y>

<https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/kekka/>

- お問い合わせ - 農林水産省東北農政局統計部統計企画課 電話：022-745-9378

